

(第3種郵便物認可)

域



外国人のもてなし方を助言する村尾隆介さん(左)

# 外国人接客 上手に

## 村尾さん(ラグビー応援団アドバイザー)が助言

### 大船渡

いわて・かまいしラグビーマイしラグビータ。外国人のもてなし方を助言し

ー応援団公式アドバイザーを務める東京都の中小企業経営コンサルタント村尾隆介さん(45)は24日、大船渡市大船渡町のキャッセン大船渡を訪れ、商店主に外

村尾さんはラグビーワールドカップ(W杯)を盛り上げるため、20日から東京ー釜石間を自転車で移動しPRを繰り返している。24日は東日本大震災から復興

した本設商店街の3店舗を訪ね、接客方法など外国人客を引きつける方法を教えた。W杯の試合前後には、釜石市や周辺に外国人が大勢訪れる。村尾さんはキャッ

センの開放感あふれる街並みを評価し「お薦めの商品を紹介する英語のポップ(広告)やメニューがある」と外国人に気持ちを伝えられる」と、工夫や気配りの大切さを伝えた。

25日は午後2時から、釜石市大町の釜石P.I.Tで村尾さんを講師におもてなしセミナー(ラグビーワールドカップ2019釜石開催実行委主催)を開催。入場無料。

# アワビ種苗 出荷を開始

## 今季400万個供給へ

### 県栽培漁業協会

### 大船渡

県栽培漁業協会(大井誠治会長)は24日、今季のアワビの種苗の出荷を始めた。成育は順調で、昨年度と同水準の約400万個を県内に供給する。

大船渡市末崎町の同協会

アワビ作業棟で、午前8時半ごろから従業員ら約20人が作業。水槽の中で育った2・5センチ程度の種苗を選別して箱詰めし、8万個を山田町の船越湾漁業協同組合へ出荷した。

種苗は殻長1センチ当たり2



アワビの種苗の箱詰め作業をする従業員

・1円(税込み)で県内20漁協に供給する。ピークは6、7月ごろで、9月末ごろまで続く見込み。

同協会アワビ部の高橋賢一専門技術員(37)は「天然物だけでは漁獲に波が出るため、底支えできると考え

洋 医

技術開 医療

リンゲ 都文官

本金

円、植

長)は

洋野町

旧角近

に建設

工場の

を現地

関係

竹社長

たいと

研究や

つくれ

たい」

内を紹

新工

床面積

環境で

ができ

2千万

子力災

企業立

した。元雇用